

さわやかCPAP便



医療法人社団

大竹内科呼吸器科医院

R6年1月発行

あけまして
おめでとう
ございます

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となり、
ようやく安心して生活できるようになりつつあります。外出の機会が増えますが、
インフルエンザウイルス感染症は流行していますので
引き続き感染対策を徹底しましょう。
皆さまが快適なCPAP生活を送れるようにスタッフ一同
心がけていく所存です。本年もよろしくお願いいたします。



院長より新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され街ではマスクをかけない人が多くなってきました。確かに新型コロナウイルス感染症で重症化する人は少なくなり、ことさら恐怖をあおる必要はないのですが、感染すれば多くの方は仕事を休むことになりまだまだ注意する必要があるかと考えます。さらに今期はインフルエンザが例年になく早く流行し、ワクチン接種と診療が一緒になってしまい驚いております。他にもいろいろな感染症が流行しておりますので手洗いなど感染予防に心がけてください。

皆様のなかに医院内でマスクを装着することについて納得できない人がいらっしゃることは重々承知しておりますが、マスクを装着し、大声で話さなければ感染のリスクは格段に低下します。ご高齢のかたもいらっしゃいますので今しばらくご協力のほどよろしくお願いいたします。

遠隔管理による治療もだいぶ進み、多くの皆様は隔月の受診になっていることと思います。受診される方が半減しましたので混雑解消はおおむね達成できたと考えております。受診月の終わりに受診できないといわれても対応できませんので、可能な限り20日までの予約でいらっしゃることをお勧めします。

2024年は甲辰の年で成長や開運の年と言われているようです。皆様の1年がそのようになりますことを心からお祈りいたします。

院長 大竹 和久

休診のお知らせ

3月 1日の午前

3月 19日

3月 25日から 29日

は 院長の都合により **休診** となります。

3月 は **早めの受診** をよろしくお願いいたします。

鼻づまりについて

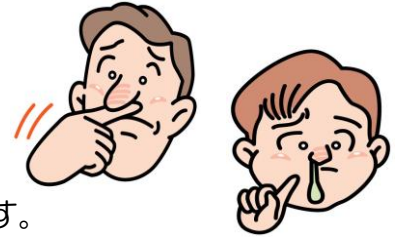
鼻づまりを放置している方はいませんか？

鼻づまりは睡眠時無呼吸症候群の原因の1つでもあります。

鼻づまりの息苦しさを、睡眠中の覚醒反応が多くなり、睡眠不足に感じる場合があります。

CPAP を使用しても、マスクを外してしまう要因になります。

日中の眠気があるときは鼻づまりが要因の1つかもしれません。



鼻づまりの原因

CPAP を使用している方たちの原因としては大きく2つがあげられます。

アレルギー性（花粉症・ハウスダスト・カビなど）のもの

CPAP 治療を開始する前の耳鼻科受診で指摘されていることと思います。

→ 当てはまる方はしっかり耳鼻科での治療をしましょう。また、鼻の炎症がひどい方は、CPAP 本体に接続して使用する加温加湿器を使用することをおすすめします。

寒冷反応が原因

CPAP を使用して急に鼻水・鼻づまりがでてきた方は、CPAP からの冷たい風が原因となっている場合があります。冬の季節だけ症状がでる方は、この可能性が高いと思われます。

→ CPAP 本体に接続して使用する加温加湿器で、あたたかく湿った空気を鼻に送ることで改善します。

寒く乾燥した冬は、鼻の症状を訴える方が多くなります。



この冬の時期に

CPAP を使用すると 鼻が詰まる、鼻水、鼻血、くしゃみといった症状が出る



CPAP からの冷たい乾燥した風が原因の可能性が高いです。



そんな方には 加温加湿器 が有効です。

加温加湿器を設置ご希望の方はご相談ください。

加湿器は CPAP 本体での設定が必要になります。

設置・操作方法を説明しますので CPAP 一式お持ちください。

寒さ・乾燥対策、
鼻のコントロール
をしっかりして、
できるだけ CPAP
を使用しましょう

鼻が過敏な方は一年中加湿器を使用しても問題ありません。積極的に活用しましょう。

必要に応じて取り付けをお願いします。また、季節ごとに設定を変更すると使用感が良くなります。



加湿器を設置してから数年が経って、

- * 操作方法を忘れた
- * 現在設定がどうなっているのかわからない
- * 使い方は合っているのだろうか？

といった方はもう一度説明しますので一式お持ちください。